

# 手話

# ハンドブック



奈良県



## はじめに



# 手話は、大切なことばです。

耳の聞こえる人が音声で会話をするように、手や指の動きや表情などによる「手話」ということばを使って考え、表現し、会話をする聴覚障害のある人がいます。

このハンドブックは、皆さまに、聴覚障害のことや手話のことを知っていただき、理解を深めていただく目的で作成しました。

障害のある人もない人も、ともに暮らしやすい社会をつくっていきましょう。

## 目次

奈良県手話言語条例 ・あいサポート運動	2	手話のしくみを知ろう	11
聴覚障害のある人が困ること	3	あいさつ	12
聴覚障害のある人との コミュニケーション	4	時の表現	16
手話について	6	色々な表現	17
何ができるか考えてみましょう	7	非常時	21
手話を覚えよう	9	指文字	26
普段の動作の中にも 手話があります	9	数字	29
		アルファベット	30

# 奈良県手話言語条例・あいサポート運動

## 奈良県手話言語条例

奈良県では、「手話は言語である」という認識に基づき、県民の手話への理解を深めるとともに、手話の普及等により、ろう者の人権が尊重され、ろう者とろう者以外の人々が互いに理解し、尊重し合うことができる社会を築くため、平成29年3月に「奈良県手話言語条例」を制定しました（平成29年4月1日施行）。

聴覚障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら、安心して暮らすことができる奈良県をつくりましょう。

## まほろばあいサポート運動



奈良県では、障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会をつくるために、まほろば「あいサポート運動」を進めています。この運動は、多様な障害の特性や障害のある人が困っていること、障害のある人への必要な配慮などを理解し、障害のある人に対してちょっとした手助けや配慮などを実践するものです。平成21年11月に鳥取県から始まり、奈良県は平成25年8月から推進しています。



ヘルプマーク

### ヘルプマーク

ヘルプマークとは、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成されたマークです。

ヘルプマークを身に着けた人を見かけた場合は、電車・バス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

# 聴覚障害のある人が困ること

## 周囲に気付いてもらえない

聴覚障害のある人は、外見では分かりにくい障害のため、困っていても周囲の人に気付いてもらえないことがあります。

また、話しかけられたことに気付かず返事をしなかったときなどに、「無視された」と誤解をされてしまうことがあります。

## 呼び出しや放送が聞こえない

銀行や病院などで名前を呼ばれていることに気付かず、返事をしなかったときに、いないと思われてしまい、順番が後回しになってしまうことがあります。

また、放送や案内が聞こえないため、駅では、どのホームにどの電車が来るのか、お店では、どこで何が行われているのかが分からないことがあります。

## 周囲の状況が分からない

自動車が近づいてくる音や自転車のベルなどが聞こえないため、危険な目にあうことがあります。

また、事故や災害が起きたとき、何が起きているのか、どのように動けばよいのかが分からず、困ることがあります。

## コミュニケーションが難しい

相手の話していることが分からず、情報が得られないことや、声を出して話すことができないために、相手に情報を伝えられないことがあります。

また、文章の読み書きが苦手な人もいます。このようなことから、細かいことが伝わらず、誤解が生じてしまうことがあります。

# 聴覚障害のある人とのコミュニケーション

聴覚障害のある人とのコミュニケーションの方法には、「手話」「要約筆記」「筆談」「口話」などがあり、その人によって普段使う方法は様々です。

聴覚障害のある人の中でも、聞こえにくさや普段のコミュニケーション方法は違いますので、本人が希望する方法でコミュニケーションを取ることが大切です。

- ①**手話**……手や指、体や表情などを使って視覚的に表現する方法です。
- ②**要約筆記**……話している内容（音声）を要約して文字にし、伝える方法です。
- ③**筆談**……ノートやメモ帳などに文字を書いて、伝える方法です。
- ④**口話**……相手の口の動きを見て、ことばを読み取る方法です。
- ⑤**空書**……空間に字を書き、伝える方法です。手のひらや壁に指で書く方法もあります。
- ⑥**その他**……身振りや手振り、図形や絵を描いて伝えるという方法もあります。

話すときは、相手に話の内容が正しく伝わっているか、内容を正しく理解しているかどうか、確認しながら話を進めることが大切です。

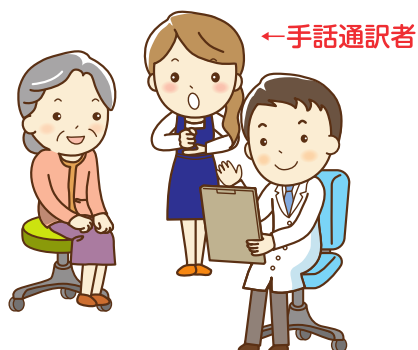
また、連絡手段として、FAXや電子メールを活用することも必要です。



# 聴覚障害のある人の コミュニケーションを支える人

## 手話通訳者

日本語を手話に、手話を日本語にしてコミュニケーションをつなげる人のことです。



## 要約筆記者

話している内容（音声）を要約して文字にし、伝える人のことです。

紙やノートにペンで文字を書いて伝える方法と、パソコンなどの機械を使い、大きなスクリーンに文字を映し出して伝える方法などがあります。



# 手話について

## 手話を学ぶ前に知っておきたいこと

### ● 普段の身振りや手振りを取り入れること

「喜ぶ」という気持ちを表現するとき、「喜ぶ」という手話を使うより、ばんざーい!と両手を上げるほうが、喜ぶ気持ちを伝えられることもあります。

### ● 感情を表現する

表情を付けることが大切です。楽しい気持ちを表すときは楽しそうな表情を、悲しい気持ちを表すときは悲しそうな表情をしましょう。

### ● 遠回しの表現をしない

誰かにお願いするときに、「今、手があいていますか?」という聞き方をすることがあります。しかし、手話で「手」が「あく」と表しても伝わりません。このように遠回しの表現をせず、「手伝ってくれますか?」とはっきり聞くほうが伝わりやすいです。

### ● 位置で意味を表す

兄と弟、姉と妹は、手の形が同じですが、兄と姉は上に、弟と妹は下に位置することで、意味の違いを表現できます。目上の方は、自分の目より上に手を置きます。



# 何ができるか考えてみましょう

次のような場面で、私たちができることを考えてみましょう。

## 街で

前を歩いている人がハンカチを落としました。後ろから、「落しましたよ。」と声をかけましたが、その人は気付かずに歩いていってしまいました。あなたならどうしますか？



その人の肩をたたいて教えたり、ハンカチを差し出して知らせたりする方法が考えられます。



## 電車やバスで

電車に乗っているときに、向かいの席に手話で会話をしている人が座っていました。急に電車が止まり、「事故のため停止しております。このままお待ちください。」というアナウンスが流れました。向かいの人は、アナウンスが聞こえないので、不安そうな顔です。あなたならどうしますか？

事故のため  
停止しています



文字を書いて知らせる方法があります。紙とペンがない場合でも、手に指で書いて伝えることもできます。



## 災害時の避難所で

地震などの災害が起きたとき、公民館が避難所になっていることがあります。そのような場所で、聴覚障害のある人にも情報がきちんと伝わるようにするには、どのような方法が考えられますか？



ホワイトボードや、大きな紙、段ボールなどに必要な情報を文字で書き、伝える方法があります。

何ができるだろう？

